

本年度の結果

	国語
阿蘇市	56
全国	58.1

領域別	言葉の特徴や使い 方に関する事項	情報の扱い方に 関する事項	我が国の言語文化 に関する事項	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと
阿蘇市	54.1	57.2	81.8	55.3	64.5	45.4
全国	59.2	59.6	75.6	58.8	65.3	47.9
観点別	知識・技能	思考・判断・表現				
阿蘇市	59.7	53.0				
全国	62.0	55.4				

本年度の主な結果について

- 領域別にみると、「我が国の言語文化に関する事項」については、全国を上回っている。
- 「言葉の特徴や使い方に関する事項」で、文の成分の順序や照応についての理解や活用、表現の技法についての理解と活用に課題がある。
- 「話すこと・聞くこと」については、話題や展開を捉えながら話し合い、発言を結び付けて考えをまとめることに課題がある。
- 「読むこと」については、目的に応じて必要な情報に着目して要約することに課題がある。

成果と課題

学力調査から

【定着している内容】

- 具体と抽象など情報と情報との関係について理解していることはできている。(2二)
- 目的や意図に応じて、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすることはできている。(3一)
- 行書の特徴を理解することについてはできている。(4三)

【課題】

言葉の特徴や使い方に関する事項

- 文の成分の順序や照応について理解することに課題がある。(3二)

情報の扱い方に関する事項

- 情報と情報との関係について、意見と根拠の関係を理解することに課題がある。(1三)

話すこと・聞くこと

- 必要に応じて質問しながら話の内容を捉えることに課題がある。(1一)
- 話し合いの話題や展開を捉えながら、他者の発言と結び付けて自分の考えをまとめることに課題がある。(1四)

書くこと

- 表現の効果を考えて描写するなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫することに課題がある。(3四)

読むこと

- 文章と図とを結び付け、その関係を踏まえて内容を解釈することに課題がある。(2一)
- 目的に応じて必要な情報に着目して要約することに課題がある。(2四)
- 短歌の内容について、描写を基に捉えることに課題がある。(4二)

質問紙調査から

【肯定的な回答の割合が高かったもの】

- 「国語の勉強は好き」「自分の考えが伝わるように、表現の効果を考えて文章を書いている」については、全国を上回っており、改善が見られる。

【課題】

- 「授業の内容が分かる」「話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめている」については、全国を下回っている。
- 「国語の授業で、説明的な文章を読み、目的に応じて必要な情報に着目して要約し、内容を解釈している」については、全国を下回っている。

課題等に対応した改善指導内容

【授業改善】

- OPDCAサイクルによる課題探究型学習を進め、課題設定一見通し一解決する一まとめ一振り返りの学びを構築する。さらに、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な取組を推進を図る。
- 「読むこと・聞くこと」の指導に当たっては、話し合いの目的や話題を意識し、話し合いがどのような段階にあるのかを捉えながら話したり聞いたりできるようにする。
- 「読むこと」の指導に当たっては、要約した文章を読み合い、目的に沿っているかを検討したり、必要な情報を適切に取り上げることができているか確かめたりするような指導を展開する。

【日常的な取組】

- 日常的に言葉による見方・考え方を働かせるとともに、言語感覚を養い、自分なりのものの見方や考えを形成する場を設ける。また、速音読や読書、新聞を読む習慣を養う。

【家庭学習等】

- 授業内容に応じた課題を出し、予習・復習の内容の充実を図る。